

【OIE 情報】台湾における狂犬病の発生について

平成 25 年 9 月 11 日
動物衛生課

台湾における狂犬病の発生について、OIEへ追加報告がありましたのでお知らせいたします。本報告は2013年7月17日付けの発生報告の続報(続報29)です。

今回、犬での初確認事例が報告されています。

なお、本年7月16日付けの台湾政府による狂犬病確定診断の公表を受け、農林水産省は7月17日より台湾を狂犬病の非清浄地域として取り扱っており、7月25日付けで指定地域(農林水産大臣が認めている狂犬病の清浄国・地域)から削除しました。

出典：OIEウェブサイト(2013年9月10日付け)

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=14065

(OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。)

【概要】

- ・発生数：2件 (続報 29)
- ・発生日：2013 年9月6日
- ・OIE への報告日：2013 年9月 10 日
- ・臨床所見あり

【発生状況】

- ・発生場所：台東県(たいとうけん)海端郷(かいたんきょう)

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
犬	1	1	0	1	0

- ・発生場所：台東県 東河郷(とうがきょう)

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
イタチアナグマ*		1	1	0	0

*：中国イタチアナグマ(原文：Chinese Ferret-badger: Melogale moschata (Mustelidae))

【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中
- ・海端郷(台東県)において、8月14日に狂犬病感染イタチアナグマから咬傷を受けた犬の狂犬病感染を確認した。
- ・当該犬は約45日齢であり、狂犬病ワクチンは未接種であった。
- ・狂犬病感染イタチアナグマについては、2013年8月19日付けでOIEに報告されている。
- ・2013年8月15日から当該犬は台東県の動物防疫所において隔離されていた。
- ・2013年9月6日から食欲不振の臨床所見を示した。
- ・2013年9月8日、麻痺が観察され、安楽死。
- ・犬の検体は家畜衛生試験所(国立研究所)に送付され、2013年9月10日に直接蛍光抗体検査及びRT-PCRにより狂犬病ウイルス感染が確認された。
- ・犬の狂犬病感染例に加え、2013年9月6日に台東県において発見された死亡イタチアナグマ1頭について、国立研究所は直接蛍光抗体検査により狂犬病ウイルス感染を確認した。
- ・県の担当当局により、感染したイタチアナグマが回収された地域において、犬猫に対する強化ワクチン接種対応が継続され、モニタリングが実施されているところ。

【対応】

- ・隔離
- ・スクリーニング
- ・発生に応じたワクチン接種実施
- ・患畜を治療対象としない

【診断】

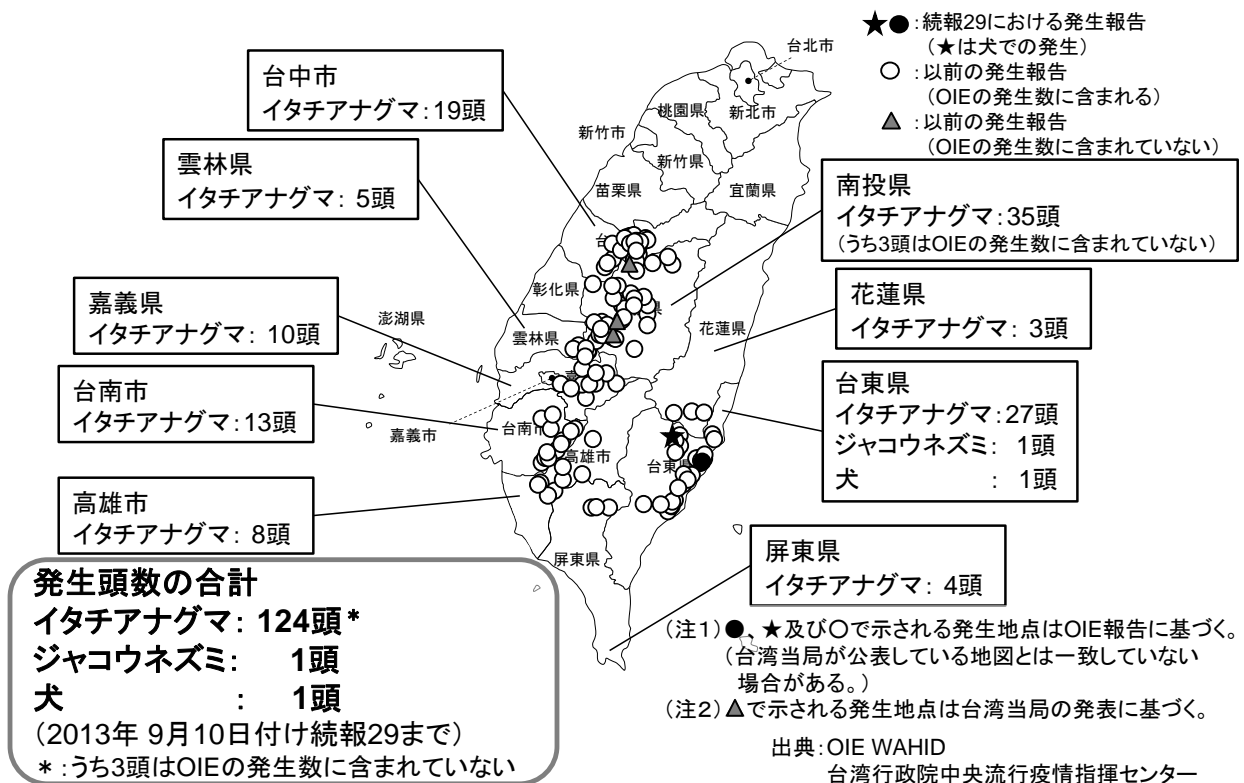
- ・犬
直接蛍光抗体検査 (FAT)、RT-PCR: 陽性 (2013年9月10日、家畜衛生試験所 (国立研究所))
- ・イタチアナグマ
直接蛍光抗体検査 (FAT): 陽性 (2013年9月9日、家畜衛生試験所 (国立研究所))

注: 本件 (犬での初確認事例) の詳細については台湾当局の公表情報を御確認ください。

台湾行政院狂犬病中央流行疫情指揮センター プレスリリース (2013年9月10日付け)

URL: http://www.baphiq.gov.tw/newsview.php?typeid=1939&typeid2=&news_id=8209

参考1: 台湾における狂犬病の発生状況



参考 2 : 台湾行政院農業委員会家畜衛生試験所公表資料 (2013 年 8 月 16 日付け)

「2013 年の台湾の狂犬病ウイルスの遺伝子配列分析」

<http://www.nvri.gov.tw/Module/NewsContent/NewsFile/900/861.pdf>

※本情報は、台湾行政院家畜衛生試験所が、8 月 16 日に公表した情報について、機械翻訳等に基づき仮抄訳したものですので、正確さを求める場合には出典元のリンクも併せて御確認下さい。

(1) 台湾のイタチアナグマから分離されたウイルス株の糖たん白質遺伝子についての分析結果

【塩基配列】

- ・台湾の分離株間の相同性 : 91.0~99.9%
- ・中国大陸のイタチアナグマからの分離株との相同性 : 84.4~88.5%
- ・フィリピンの犬からの分離株との相同性 : 87.0~88.6%

【塩基配列から推定されるアミノ酸配列】

- ・台湾の分離株間の相同性 : 93.1~100%
- ・中国大陸のイタチアナグマからの分離株との相同性 : 90.1~92.4%
- ・フィリピンの人及び犬からの分離株との相同性 : 92.2~93.1%

(2) 台湾のイタチアナグマから分離されたウイルス株の核たん白質遺伝子についての分析結果

【塩基配列】

- ・台湾の分離株間の相同性 : 91.9~100%
- ・中国大陸のイタチアナグマからの分離株との相同性 : 87.6~90.0%
- ・フィリピンの人及び犬からの分離株との相同性 : 87.8~89.4%

【塩基配列から推定されるアミノ酸配列】

- ・台湾の分離株間の相同性 : 97.6~99.8%
- ・中国大陸のイタチアナグマからの分離株との相同性 : 96.7~98.0%
- ・フィリピンの犬からの分離株との相同性 : 96.7~98.7%

(3) 台湾のイタチアナグマから分離されたウイルス株の基質たん白質遺伝子についての分析結果

【塩基配列】

- ・台湾の分離株間の相同性 : 92.9~100%
- ・中国大陸のイタチアナグマからの分離株との相同性 : 86.5~91.3%
- ・フィリピンの分離株との相同性 : 相関する配列がないため未分析

【塩基配列から推定されるアミノ酸配列】

- ・台湾の分離株間の相同性 : 95.1~99.5%
- ・中国大陸のイタチアナグマからの分離株との相同性 : 92.1~97.0%
- ・フィリピンの分離株との相同性 : 相関する配列がないため未分析

これまでに台湾で分離されている狂犬病ウイルスの遺伝子配列を分析した結果、地域により 3 つの群に分けることが可能。また、台湾、中国（一部）及びフィリピンのイタチアナグマ、犬及び人で分離された狂犬病ウイルスは同一の clonal group に属すること、台湾のイタチアナグマの狂犬病ウイルスは 1 つの系統 (Lineage) に属することが示された。

参考3：これまでの台湾における狂犬病の発生情報は、本省ウェブサイトで公表しています。

水際における狂犬病対策について

URL: <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/eisei/rabies/index.html>

本省ホームページからの閲覧方法は下記参照。

農林水産省ホームページ (<http://www.maff.go.jp/index.html>)

＞ 組織・政策

＞ 消費・安全

＞ 家畜の病気を防ぐために（家畜衛生及び家畜の感染症について）

＞ 水際における狂犬病対策について

「犬等の輸出入検疫制度の一部改正について」の

「台湾での発生情報等（OIEに報告された情報・台湾当局プレスリリース）」

農林水産省

ホーム 品サ

サイト内検索

文字サイズ変更 小

農林水産省について

組織・政策

報道・広報

統計情報

ホーム > 組織・政策 > 消費・安全 > 家畜の病気を防ぐために(家畜衛生及び家畜の感染症について) > 水際にお



更新日: 平成25年9月2日

担当: 消費・安全局動物衛生課

水際における狂犬病対策について

狂犬病は、アジア、米国、EU諸国をはじめ世界各国で依然として発生がみられ、世界保健機構(WHO)によれば、年間5万5千人が発病していると報告されております。本病は、近年発生がない我が国においても、最も警戒すべき感染症の1つとなっています。

我が国では、狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び予防接種等の国内対策、空港や港などにおける水際対策として、犬猫等の輸出入検疫を実施しています。

農林水産省では、動物検疫所において輸出入検疫を担当しているほか、国際機関と連携し、外国船によ

台湾での発生情報等(OIEに報告された情報・台湾当局プレスリリース)

(※Follow-up No.22以降は、発生数の増加以外の新規の情報がない限り、週に1度を目途に更新することとします。)

- 台湾における狂犬病の発生について[Follow-up report No.22](平成25年8月29日付OIE報告)(PDF:303KB) **New!**
- 台湾における狂犬病の発生について[Follow-up report No.21](平成25年8月28日付OIE報告)(PDF:273KB)
- 台湾における狂犬病の発生について[Follow-up report No.20](平成25年8月27日付OIE報告)(PDF:295KB)
- 台湾における狂犬病の発生について[Follow-up report No.19](平成25年8月26日付OIE報告)(PDF:292KB)
- 台湾における狂犬病の発生について[Follow-up report No.18](平成25年8月23日付OIE報告)